

千代田区都市計画マスタープラン改定
分野別まちづくり等の素案検討①
【B.土地利用 + 分野別検討資料】

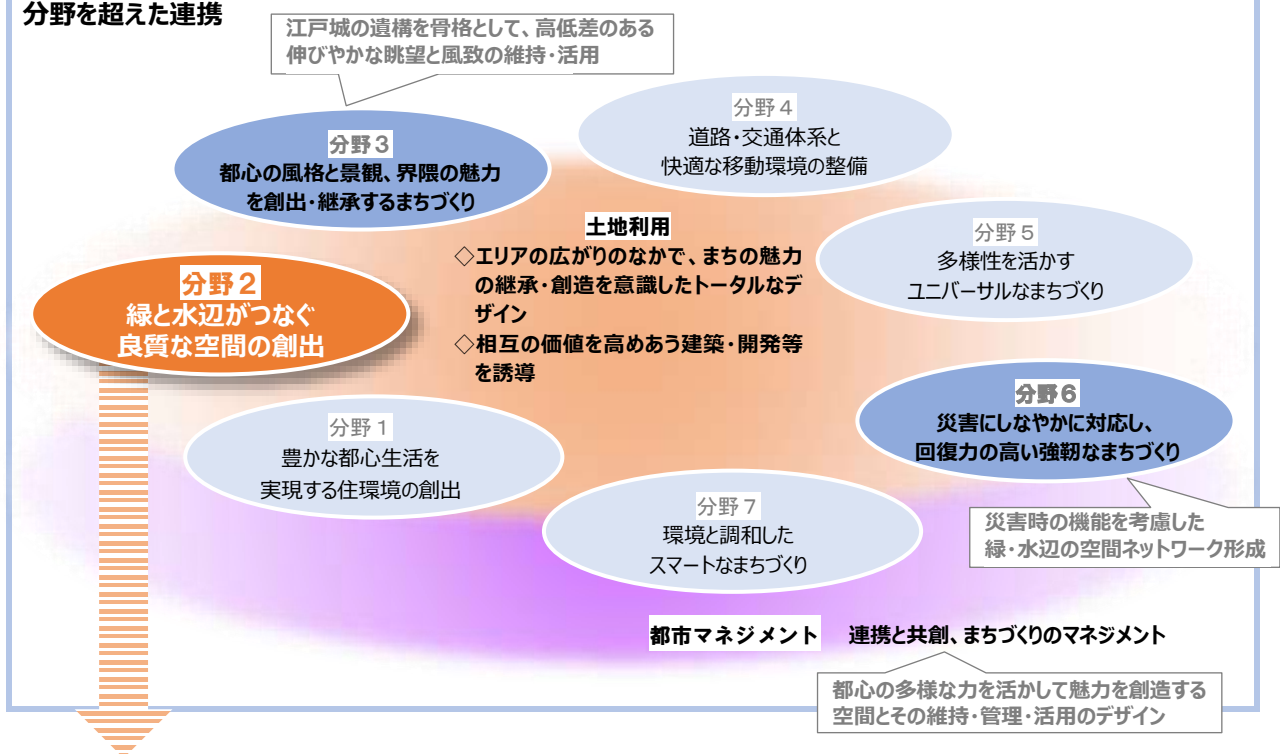
〔分野2〕
緑と水辺がつながる良質な空間の創出
たたき台

将来像
つながる
都心

- 居心地のよい場所、豊かな生活・交流・活動のスタイルと仲間を見つえられる
- 拠点と多彩な界隈が魅力を高めあい、未来へと価値と文化を創造・継承している
- 江戸城の遺構を活かし、都心の快適な環境と首都東京の風格・品格が感じられる

▷地方や世界から選ばれる都心のグローバルな価値を生み、一歩先の未来を発信しつづけている

分野を超えた連携



方針1 : 豊かな緑と水辺の心地よさが際立つ都心環境を形成していきます

方針2 : みんなが親しめる**公共の緑・水辺の空間**の質・機能を高めていきます

方針3 : ひとの目線でうるおいとやすらぎ、都心の楽しさを感じられる**“まちなかの空間”**を育てていきます

方針4 : まちの多様な空間の価値を高められるよう、**まち、ひとの力、制度・手法**を戦略的に活用していきます

● 分野 2 ●

緑と水辺がつなぐ良質な空間の創出

未来へのまなざし

居心地のよい空間の多様性

皇居や内濠、外濠など、江戸城の遺構や日比谷公園、靖国神社等の大規模な公園・緑地を基盤として、都心のアメニティや生物多様性を支える緑の水の骨格を継承し、魅力・価値を高めていきます。

イメージ写真

江戸城の史跡とともに継承する眺望
皇居を中心としたクールアイランドと風の道
親しみやすい緑と水辺（散歩道、親水空間）
生物の棲息空間のつながり

こうした緑と水の骨格を軸として、多様なひとが、それぞれのスタイルで過ごし、居心地のよさや都心生活の豊かさを感じられるような場所をまちのなかで充実させていきます。

そしてエリア全体として、そこで過ごすひとびとや活動の風景が魅力となるよう、地上を歩くひとの目線の高さで、物理的な空間のつながりや、空間を利用した様々な活動の連携を広げていきます。

イメージ写真

江戸からの歴史文化、都心の風格、水とのつながりを感じる空間（江戸城の史跡、水辺、歴史的建造物、界隈性と文化、坂など）
緑や水辺のうらおい、四季の変化を感じられる空間
界隈の個性を活かした文化的・創造的な活動が行われる空間
ゆったり、安心して、自分らしい時間を過ごせる空間（朝活、ランチ、就業時間後の夜の活動など）

まちのなかの居心地のよい空間は、道路や公園・緑地、河川などの公共の空間や、開発等によって生まれる民有の空間などがまちの資産として一体性をもって計画され、効果的につながるよう誘導していきます。また、こうした空間はつくるだけでなく、空間を利用して展開され活動自体がまちの魅力、価値、文化となるよう、維持管理と活用を活発にしていきます。

**まちづくり
の目標**

皇居を中心とする豊かな緑と水辺のネットワークが拡がり、居心地のよいオープンスペースが創出・連携され、多様な人々が豊かに過ごしている

- 千代田区ならではの緑と水辺の価値、その継承とさらなる充実
- 都心生活の価値を高める多彩な緑と水辺空間の再生・創出と活用
- 平常時・非常時（災害時）の多面的な空間活用
- オープンスペースから考えるまちづくり

**方針
1**

豊かな緑と水辺の心地よさが際立つ都心環境を形成していきます

現行方針から継承する方針	強化するポイント（中間のまとめ）
<p>方針 1： 今あるかけがえのない豊かな緑と水辺の環境を守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 継承すべき江戸の緑と水辺の遺構の顕在化と空間の再生、デザイン ◇ 皇居から展開する生物多様性やヒートアイランドの緩和に配慮した、質の高い緑と水辺空間のネットワークを展開する環境創造軸の形成

**方針
2**

みんなが親しめる公共の緑・水辺の空間の質・機能を高めていきます

現行方針から継承する方針	強化するポイント（中間のまとめ）
—	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 皇居・濠と連続性の高い公園・緑地の一体的な管理・活用（都市計画中央公園等） ◇ 緑と水辺の環境、都心の豊かな生活とつながる既存の公園・緑地、街路樹等の効果的な維持管理と再生

**方針
3**

**ひとの目線でうるおいとやすらぎ、都心の楽しさを感じられる
“まちなかの空間”を育てていきます**

現行方針から継承する方針	強化するポイント（中間のまとめ）
<p>方針 2： 身近な緑と水辺をつくり、つなげ、自然に親しめ安らげる場をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 大規模開発などにおける緑と水辺空間の創出、公共空間と敷地内の緑と水辺の連続性による相乗効果 ◇ ひとの目線からの豊かな都心生活の場となる居心地よい空間デザインの展開 (建物の低層部や空地の連続性と活動、賑わいのつながり、都心ならではの環境を活かした立体的な緑化など) ◇ まち、人のつながり、価値の創造 ◇ 都心でくつろぎの時間を過ごしながらか、眺望を楽しめる空間の創出

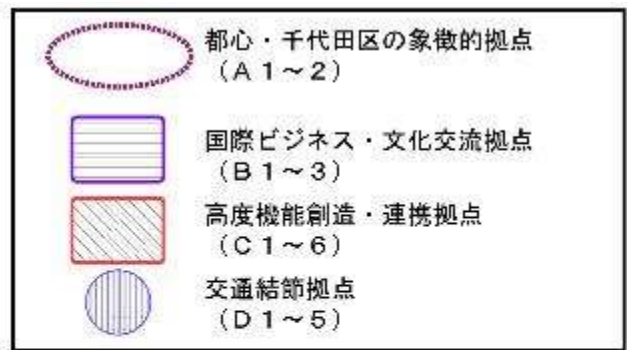
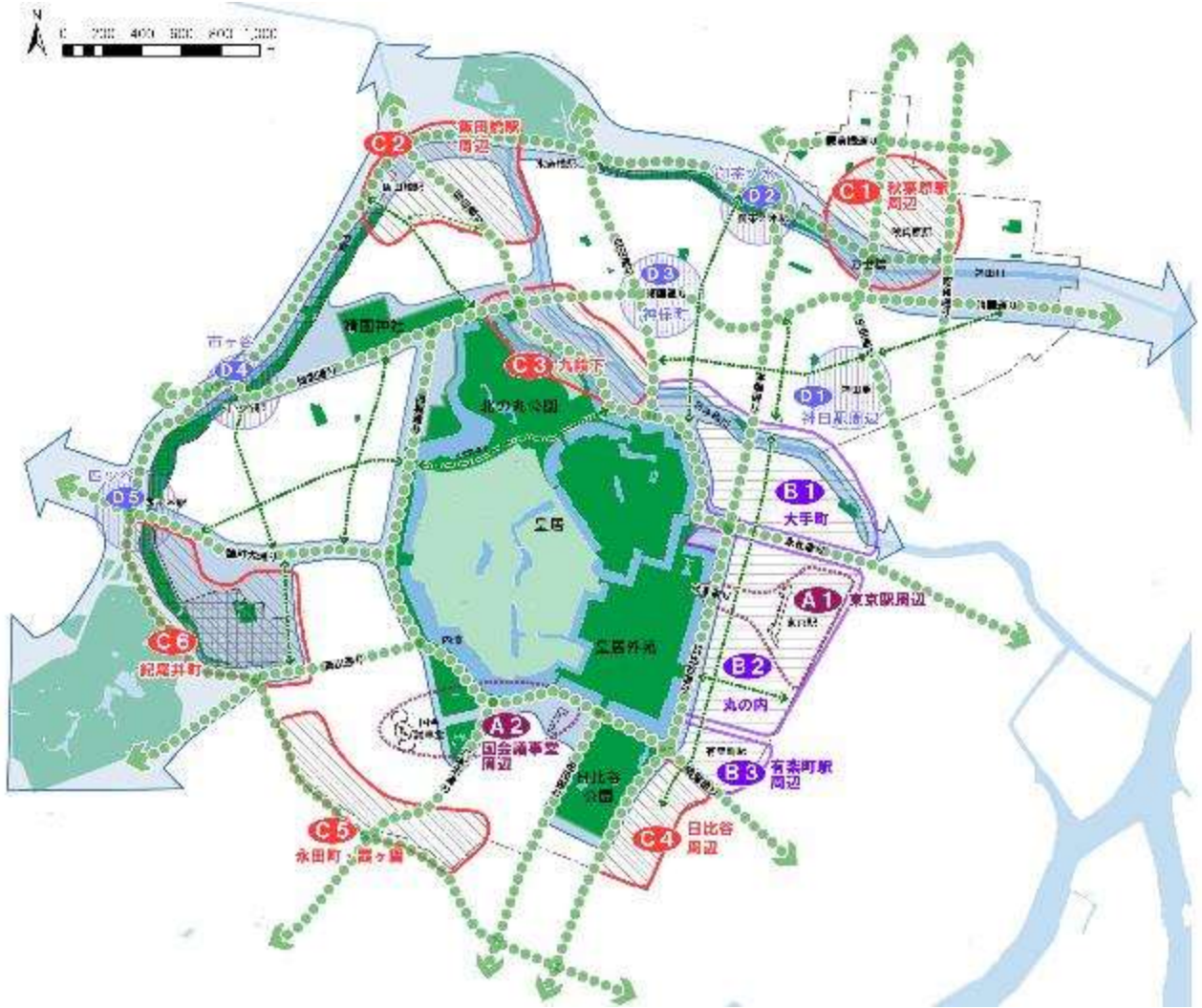
**方針
4**

**まちの多様な空間の価値を高められるよう、
まち、ひとの力、制度・手法を戦略的に活用していきます**

現行方針から継承する方針	強化するポイント（中間のまとめ）
—	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 官民の連携による緑と水辺空間の創出、利活用と新たな価値創造の推進。官民連携による「身近な緑」の創出 (新しい文化・コミュニティ・防災の拠点育成、市民緑地認定制度等新たな手法の活用)

▶方針図

緑と水辺がつなぐ良質な空間の創出



都心の骨格的な緑と水辺	
環境創造軸	江戸城の遺構としての歴史性とともに、皇居周辺の大規模緑地、内濠、外濠、日本橋川、神田川の緑と水の骨格を保全・継承していきます。多様な生物が棲息し、多くのひとに親しまれる空間・ネットワークを形成し、豊かで快適な都心環境を創造・継承していきます。
都市機能連携軸	都心の放射・環状の骨格的な道路沿道において、街路樹や特徴ある並木、植栽とその適切な維持・管理などによって、うるおいある環境や沿道の連続性を強めていきます。
エリア回遊軸	まちと駅、個性ある界限をつなぐエリアの主要な道路沿道において、歩きやすく、潤いを感じられる環境、空間の創出を進めていきます。

拠点育成にともない再生・創造する豊かな空間	
都心・千代田の象徴的拠点	東京駅丸の内駅舎、駅前広場、行幸通りなど、首都・東京の顔となる象徴的空間を中心に、周辺街区の建築物や敷地内の空地、道路等の公共空間、地上・地下の通路などがトータルデザインのもとに連続性と一体性を保ち、親しみ活用される拠点としていきます。 国会議事堂及び周辺においては、首都機能を象徴する景観と空間構成を継承する拠点としていきます。
国際ビジネス・文化・交流拠点	都心ならではの国際的な都市機能や多彩な都市機能が高度に集積するなかで、都心の骨格的な緑と水辺との連続性を高めながら、働き、訪れ、滞在するひとがより豊かな時間を過ごし、都心の多彩な活動に参加し、体験・交流できる空間がつながり、広がっていく拠点としていきます。
高度機能創造・連携拠点	まちの顔となる主要な都市機能が集積するなかで、地上・地化、公共・民間の空間の連続的・一体的なデザインや空間活用を進めるなかで、多様なひとが集まり、活動しやすい環境が充実させていく拠点とします。
交通結節拠点	複数の鉄道路線が交差する利便性の高い駅周辺で、地上・地下の移動しやすい空間、安全でゆったりと滞留できる空間が充実し、駅とまちのつながりを充実させていく拠点とします。

エリアごとの個性的で魅力ある多様な空間のつながり	
麹町・番町・富士見エリア	内濠・外濠などの骨格的な緑と水辺に囲まれ、居住と商業・業務機能、大使館、教育施設などが調和した落ち着いた市街地環境と都心生活がより豊かになるよう、建物（壁面・屋上等）や敷地内の緑化、視覚的な緑の連続性を高め、うるおいを感じる街並みを形成するとともに、世代を超えた交流や多様性を活かした新たなコミュニティ、文化を育てる空間の充実を進めていきます。
秋葉原・神田・神保町エリア	江戸の下町の風情や味わいある建物とともに、路地など奥行きを感じる空間を大切にしながら、道路・公園等の既存の公共空間との一体的な空間、街区レベルの開発等を契機に創出される新たな空間などとともに、まちの活力、賑わい、文化を継承・創造していけるよう、多彩な“場所”を活用し、マネジメントしていきます。
都心中枢エリア	都心・千代田の象徴的拠点、国際ビジネス・文化・交流の拠点において、都心ならではの豊かな空間の創造を進めるとともに、永田町・霞ヶ関の一带（一団の官公庁施設）では、国会議事堂周辺の緑地や日比谷公園、内濠等の水辺と一体的な環境を保ち、緑豊かな国家中枢機能の風格を継承・創造していきます。

1	江戸城の遺構を骨格として、高低差のある伸びやかな眺望と風致の維持・活用	⇔	分野3 都心の風格と景観、界隈の魅力を創出・継承するまちづくり
	現行方針の継承のポイント -		強化するポイント（中間のまとめ） ◇都市の緑と水辺を活かした良好な景観形成の推進
2	災害時の機能を考慮した緑・水辺の空間ネットワーク形成	⇔	分野6 災害にしなやかに対応し、回復力の高い強靱なまちづくり
	現行方針の継承のポイント ○避難路としての機能強化に配慮し、街路樹や植栽帯の充実		強化するポイント（中間のまとめ） ◇災害時等の利用・貢献を想定した緑と水辺の空間デザインの創出や維持管理
3	都心の多様な力を活かして魅力を創造する空間とその維持・管理・活用のデザイン	⇔	都市マネジメント まちづくりのエンジンの進化
	現行方針の継承のポイント -		強化するポイント（中間のまとめ） -